

◇—————◇  
公益社団法人 日本航空機操縦士協会  
メールマガジン Vol.90/ 2021/9/15  
◇—————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。  
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—————INDEX—————★

- [1]【常務理事コラム】アンダーコロナ、アフターコロナの JAPA の運営を考える
- [2]【お知らせ】JAPA フォトコンテストの開催
- [3]【VOICES FEEDBACK】<①iPad の落下><②小型ジェット機とヘッドオン>
- [4]【お知らせ】JAPA 卓上カレンダー「2022 Cockpit Calendar」10/1 販売開始
- [5]【お知らせ】セミナー・イベント
- [6]【お知らせ】協会事務局の勤務体制について
- [7]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

- ★—————
- [1]【常務理事コラム】アンダーコロナ、アフターコロナの JAPA の運営を考える  
常務理事 池田 晃二

★—————

現在、緊急事態宣言が発出され JAPA の活動も制限せざるを得なくなっています。

昨年度前半は JAPA もデジタル化が進んでおらず緊急事態宣言や蔓延防止策が発出されると色々な行事が中止、延期になっていました。その後、事務局の努力によりデジタル化は進みつつあります。未だ計画段階ですが運営サイドではグループウェア、経費支払いシステム等の導入、会員の方向けには JAPASHOP ネットショッピングサイト、FTD や JAPASHOP のキャッシュレス対応、クレジットカードの払い対応等です。

少人数での委員会等は個人での対応で ZOOM や Google-Meet 等でリモート会議は最初から実施出来ましたが大人数での会議、セミナー、講習会、シンポジウムは通信環境、通信機器、運営方法が難しく専門業者に任せる工夫も必要です。特に完全リモートよりも実出席

とりも参加によるハイブリットの場合は更なる工夫が求められます。しかしリモート開催のメリットも多く東京近郊の方でなくてもその時間さえ開ければ参加出来ますしセミナー、講習会、シンポジウムに参加する際の交通費や宿泊費の自己負担が無くなる等があります。ATS シンポジウムでは例年よりも多数の参加者がありました。参加者からも今後もリモート開催を望む声が多く上がりました。

私の担当する2つの会議も大阪、愛知、桶川等からの参加の方は実開催では1日が潰れますがリモート開催であればFLT 後や仕事の合間に参加出来ます。参加率は実開催より良く毎回ほぼ100%です。

コロナが収束してもこの流れは継続していくと思われま

す。しかしCRM等、FACE to FACE で効果が上がるセミナーやFTDのように対面しないと出来ない事業もあり今後、デジタル化を図りつつもコロナ下、コロナ収束後も会員の方の利便性と感染対策を考え色々な手法を実施していきたいと思

★

---

[2]【お知らせ】JAPA フォトコンテストの開催

★

#### 《コンテスト概要》

JAPAはこの秋、初めてのフォトコンテストを開催します。

テーマは「私の好きな飛行機」です。飛行機ファンの方、飛行機に興味を持っている方、将来パイロットになりたい方など、どなた

でも応募できます。コンテストに入賞されますと、副賞としてFTD（フライトシミュレーター）の操縦を体験することができます。

また小・中・高校生の部に応募された方の中から抽選で5名様にも、FTDの操縦を体験していただけるJAPA特別賞を用意しています。

審査員には航空写真家の青木勝氏他をお迎えし、審査結果は12月上旬にJAPAホームページその他で発表する予定です。

多くの皆さまからのご応募をお待ちしております。

#### 《応募期間》

2021年10月1日(金)～11月20日(土)

《詳細はこちら》

<https://www.japa.or.jp/japa-contest>

★

[3]【VOICES FEEDBACK】

＜①iPad の落下＞＜②小型ジェット機とヘッドオン＞

★

＜①iPad の落下＞

iPad を Center Pedestal に落下させ、MEL 適用、更に Delay にまで至ってしまった事例です。

便間にてやや時間に余裕があったため、会社貸与 iPad を持ち Cabin で次便の情報等を確認していました。Cockpit に戻り Right Seat に座ろうとした際、会社貸与 iPad を Center Pedestal 上に落下させ、CAP Side AudioControl Panel (ACP) の SATCOM SW 1 を折ってしまいました。CAP Side ACP は MEL の適用ができないため、First Observer Seat の ACP と入れ替えることとなり、整備作業に一時間ほど要しました。Pedestal の上で物を受け取るな等という先輩の教えの大切さを痛感しました。

★VOICES コメント

今回は出発時でしたが、運航中だと思いきり寄らないことが起きる可能性があります。iPad だけではなく、その他の私物でもタービュランスなどが起きても Cockpit 内に影響を与えないようにしっかりと収納する必要がありますね。

＜②小型ジェット機とヘッドオン＞

茨城県古河市上空をグライダーで飛行中、上昇気流により滑翔して約 5,500ft まで上昇し、北に向かってクルーズしていたとき、ジェット機が正面から飛来し、直上を通過した。点灯していた着陸灯により遠くから視認できていて、高度差はあったので大丈夫とは思ったが、ヘッドオンで相対速度が大きく、視認できてから急に大きく広がって見え、AIM-J 935「空中衝突の予防」に書いてある通りの見え方だった。どちらも回避操作は行わず、こちらはウエークタービュランスにも遭遇しなかった。自機に ATC トランスポンダー装備はなかった。約 40 分後に着陸したあと、当該機の

機長からグライダークラブに連絡があり、相手機は RNAV 航空路 Y588 を飛行していた双発ジェット機だったと分かった。

当該機長から『エンジンの無いグライダーが長距離、高高度を飛んでいるとは理解していなかった』との感想があり、また、お互いに見張りが重要なので、今回の事例は関係者に共有してほしい旨の要望があった。なお、チャートを調べたところ、TCA チャートには Airway Y588 の記載があるが MEA は表示されておらず、区分航空図(関東・甲信越)に Airway Y588 の記載はなかった。現在チャートを取りまとめている団体にチャートへの Y588 記載を依頼中。また Flight Radar24 で得られたデータと自機の GPS 記録から、通過時の高度差約 500ft、相対速度約 560km/h(302kt)と推定された。今回の出来事で空域および IFR 機の飛行についてより理解が深まった。

#### ★VOICES コメント

埼玉県を含む北関東には滑空場が集中し、ソアリングが盛んに行われるとともに、訓練／試験空域が設けられているため、衝突防止のための見張りと接近回避が特に求められます。グライダーへの ATC トランスポンダーの装備と作動が有効性の高い衝突防止策でしょうが、電源に限りのあるグライダーでは悩ましいところですね。

関連として 2000 年代には外国でトランスポンダーOFF のグライダーとビジネスジェット機との空中衝突事故が発生しています。

報告者の所属組織では、メンバーに対してグライダーの飛行空域の理解と VFR ルールに則った飛行を徹底する、他の滑空組織に事例紹介する、関係機関にグライダー飛行の特性を理解してもらう活動を促進する、IFR トラフィックの多いウイークデーにはトランスポンダーを装備する、レーダーサービスへのコンタクトを行う等の対応を取るとのことです。

なお、「TCA チャートには Airway Y588 の記載があるが MEA は表示されておらず、区分航空図(関東・甲信越)に Airway Y588 の記載はなかった。」とのことですが、今回の事例を受け、区分航空図の次回改定時には記載される予定です。

★

[4]【お知らせ】JAPA 卓上カレンダー「2022 Cockpit Calendar」10/1 販売開始

★

大型旅客機から小型機、ヘリコプターまで、様々な航空機の COCKPIT VIEW 満載！  
卓上版ながら、大きめの A5 版、厚めのマット紙を使用、高級感溢れる仕上がり！

会員価格 500 円＋税

一般価格 1,000 円＋税

販売は 10/1 より開始致します。ご注文方法については、JAPASHOP をご参照  
ください。

(JAPASHOP はこちら)

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>

★

[5]【お知らせ】セミナー・イベント

★

《航空安全講習会》

2021 年 9 月 25 日(土)＜沖縄＞

2021 年 10 月 23 日(土)＜大阪＞

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

2021 年 10 月 3 日(土)＜福岡＞

2021 年 10 月 23 日(土)＜大阪＞

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

(予定)

2021 年 12 月 11 日(土)＜愛知＞

申込受付開始後ホームページ及びメルマガでご案内いたします。

このイベントは航空に係る仕事に興味を持っていただくことを目的に  
航空各社や、航空局の協力を得て、航空機操縦士、客室乗務員、旅客

担当者、航空管制官の「空の仕事ワークショップ」を行います。  
皆様にイベント内容を、より分かりやすくお伝えするため、2021年4月より「Yes I Can 航空教室」から、「Fly with us～空の仕事ワークショップ～」へイベント名称を変更しました。

---

《ATS シンポジウム》

2021年10月30日(土)＜オンライン開催＞  
申込受付開始後ホームページ及びメルマガでご案内いたします。

---

《航空気象シンポジウム》

2021年11月20日(土)＜オンライン開催＞  
申込受付開始後ホームページ及びメルマガでご案内いたします。

---

《TEM/CRM セミナー》

2021年12月2日(木)～3日(金)＜東京＞  
申込受付開始後ホームページ及びメルマガでご案内いたします。

---

《セミナー・講習会受講に際しての注意事項》

JAPA が主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するためご参加のみなさまへの注意事項や連絡事項を取り決めいたしました。

セミナー・講習会へのご参加にあたりましては、以下内容をご確認いただきますようお願いいたします。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2020/06/japa20200618.pdf>

尚、その他のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームページ及びメールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくださいますようお願い申し上げます。

★

---

[6]【お知らせ】協会事務局の勤務体制について

★

協会事務局では首都圏での新型コロナウイルスへの感染リスクを考慮し、今後の勤務体制を以下の通りといたします。

期 間:9月15日(水)～(終了に関しては別途お知らせいたします。)

出勤日:月曜日-金曜日(祝日を除く)

時 間:10:00-16:00

★

---

[7]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険(ロスオブライセンス)へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページより、ご覧ください。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member.japa.or.jp/member>

\* \* \* \* \*

★次回の配信は10月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

---

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール [japa@japa.or.jp](mailto:japa@japa.or.jp)

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>

---